

# NPO法人まするか北海道 第5回東日本大震災 被災者支援コンサート

## 「私たちは忘れない！」

[プログラム]

ベートーヴェン

ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 作品27-2「月光」

ピアノ・ソナタ第23番 ヘ短調 作品57「熱情」

ショパン

バラード、マズルカ、エチュード より

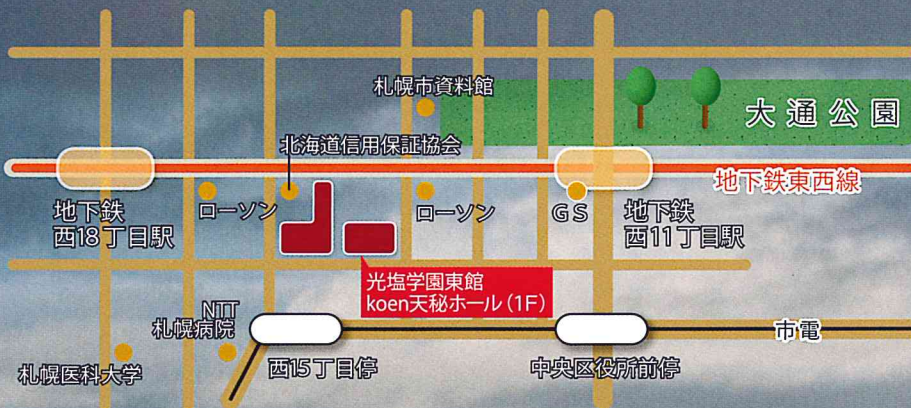
\*曲目は変更となる場合がありますのであらかじめご了承ください。

2016年3月6日(日) 14:00開場  
14:46PM開演

会場:光塩学園koen天秘ホール

(札幌市中央区大通西14丁目光塩学園東館1F)

※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。



参加費:一般¥4,000(自由席・税込)

まするか北海道会員¥3,500

[オフィス・ワンにて取り扱い・入会ご希望の方はオフィス・ワン宛お問い合わせください]

\*未就学児童の入場はご遠慮ください。

\*収益は東日本大震災被災者支援として公益財団法人「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」に寄付させていただきます。

[チケット取扱い]

●チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード/284-741)

●ローソンチケット 0570-000-407

\*Lコード予約 0570-084-001 (Lコード/15694)

●大丸プレイガイド(南1西3) 011-221-3900

●道新プレイガイド 011-241-3871

●イープラス <http://eplus.jp>

[ご予約・お問い合わせ]

オフィス・ワン ☎011-612-8696

[予約受付10:30~18:00土・日・祝日休]

<http://www.officeone.co.jp/>

主催:NPO法人まするか北海道

後援:ポーランド大使館、ポーランド広報文化センター、  
北海道ポーランド文化協会、札幌市、札幌市教育委員会、  
北海道新聞社、学校法人藤学園、学校法人光塩学園



ポーランド広報文化センター  
Instytut Polski w Tokio

### ピアノ演奏:遠藤郁子

巨匠アルトゥール・ルービンシュタイン、ヴラド・ペルレミュテル、バウルク・パドゥラ・スコダ、ロンドン「デイリー・テレグラフ」、人間国宝・金春信高、文化功労者・畑中良輔など芸術界重鎮の諸氏が絶賛する遠藤のピアノの音は、作曲家の音霊(おとだま)を伝える唯一無二のものである。安宅賞、ショパン国際コンクール特別銀賞、オフリッド音楽祭(ユーゴスラビア)功労賞、日本ショパン協会賞、2010年「ショパン生誕200年記念ブロンズ賞」他受賞多数。2014年にはデビュー50周年を迎え記念リサイタルを札幌と東京で開催。2015年にはポーランド共和国の文化功労者としてポーランド共和国聖十字功労勲章を叙勲する。2000年ショパン国際コンクール審査員、日本ショパン協会理事。NPOまするか北海道理事長。遠藤道子記念音楽館館長。



## ごあいさつ

NPO法人まざるか北海道  
理事長 遠藤郁子

『まざるか』は当時のオウム真理教が、松本市と東京都で起こした猛毒のサリン事件被害者5000余人の方々への救済を目的としたチャリティコンサート(於:赤坂サントリーホール、松本市公会堂)が契機となり、1997年に発足いたしました。

当時サリンを浴び植物状態にあった被害者が、私のCDに反応し、「怖い、痛い」の2語を発したニュースは当時「奇跡」として新聞、TV等で連日報道されましたが、音楽のもつ不思議な力を知った私は「音楽で何かお役に立てることが?」と希いました。旭川市の生まれつきの重度障害の16才の女性の「奇跡の歩行」、連日、士別の原生林で自死を願い、さまよっていた四国の青年が、ショパンの「雨だれ」「英雄」に接し、生き直すため「ありがとう、ありがとう」の言葉を残して故郷へ戻ったことなど、作曲家たちの魂が時空を超え、苦しみの中にある人々の魂に語りかけ救命する、これも私の天命と思います。

「まざるか」は2001年に法人格を取得。今春には、これらの活動に対し、細川護熙もと首相(瓦礫を活かす森の長城プロジェクト理事長)より、感謝状が贈られました。これらを励みとし、スタッフ一同、これからも「音楽による社会福祉」をめざして精進してまいります。

